



■ 佐々木 和恵（ささき かずえ）

災害とは切っても切り離せない『避難』や『避難所生活』を、被災者のニーズに合わせた柔軟なものになるよう改善していきたい。

略歴

北海道稚内市出身、洞爺湖町在住。

父の転勤により小学校1年生の時に洞爺湖温泉へ引っ越してきました。小学校2年生の時に有珠山噴火、3年生の時には住んでいた所のすぐそばで泥流が発生し、被害を間近で見っていました。2000年の噴火では、洞爺村役場職員として、炊き出しのお手伝いをしました。

短期大学卒業後は旧洞爺村役場、洞爺湖町役場の保育士として勤務。途中で難病になり手足が不自由になったため、現在は事務職員として洞爺湖町役場で勤務しています。

抱負や自己PRなど

私は、難病でまだ軽いですが身体に障害もあります。私が火山マイスターになっても、みんなと同じように山に登ったり、ガイドなども出来ないだろうと認定審査を受けようかまだ迷っていた時に「考え方を変えれば受かる」と言われ初めはどういうことだろう?とっていました。2度目の試験で合格をいただいたのですが、1度目の認定審査の後、審査員の先生方の言葉から自分に求められていることをいろいろ考えました。

元々私は心理カウンセラーとして避難所のボランティアに入りたいと思い、今勉強をしているのですが、数年前に病気で入院した時に同じように病気の人や障害のある方も見てきました。身体が動かしくい、身体が痛い精神的に辛い人、高齢者の方、小さな子ども達…みんな避難所生活を送るわけです。そのことを考えたときに「自分のやるべきことがある、求められていることもとても大きな役割なのでは?」と気づきました。

実際、その方たちは避難所生活、避難するときにも非常に大変な思いをされているようです。私は、何が大変でどう改善されるべきなのかをこれからたくさんの方の声を聴き、工夫できることを考え、先輩マイスターの方の協力を得ながら住民や行政に知ってもらうチャンスを作りたいと考えています。